

施策案に対する意見等の概要と意見等に対する市の考え方

番号	質問	回答
1	<p>建設地は、大泉町外二町斎場及びその隣接地とするとあるが太田は千代田町、大泉町、邑楽町と比較して人口も一番多いし経済的にも中心である。やはり太田市内で適地を見つけるべきでは。斎場は人生最後の式典会場としてきわめて重要な施設である。太田市が他市と比較して一番劣っている施設であるという事はかなりの人が思っていると思う。せめて桐生斎場にはまけない施設にしてもらいたい。桐生と比較して東部では太田市の方が人口をはじめ発展性かなりうわまわっていると思うので、それにふさわしいものを建設すべき。お金がかかっても価値あるものだから納得すると思います。検討しなおすべきです</p>	<p>・基本計画の中で建設候補地について、①太田市斎場、②大泉町外二町斎場及びその隣接地、③新たな用地、3つの候補で検討した内容は、以下の通りです。</p> <p>①太田市斎場の敷地内での建設について、市街地に立地し利便性に優れるが、都市計画決定を受けておらず、周囲に住宅が多いことから、都市計画決定にむけてのハードルは高い。また、広域斎場を整備するには手狭で、隣接した勤労会館の解体など建設用地確保が必要になるほか、既存施設を運営しながら建築工事をしなければならず、市街化された敷地の拡張が難しいこともあり、スムーズな建設は難しく、工期が長くなる。</p> <p>②大泉町外二町斎場及びその隣接地は、やや利便性に劣るものの、都市計画決定を受けており、隣接地への拡張が可能であり、都市計画決定の変更手続きが必要となるが、敷地に余裕があるため、工事が行いやすい。</p> <p>③新たな用地の選定及び地元の合意形成には、多くの時間と労力が必要であり、現在の施設の老朽化を考慮すると、早い時期での整備が必要とされる現状では、現実的でない。</p> <p>以上の理由により、建設地は大泉町外二町斎場及びその隣接地としました。</p> <p>・新斎場の施設の内容については、今後事業を進めていく中でより良い施設ができるように努めて参ります。</p>